

2023年度 稲魂賞受賞者

No.	区分	氏名・団体名(敬称略)	学部・研究科	内容
1	個人	神鳥 舞	スポーツ科学部	2023年全国学生テニス選手権大会(男子91回/女子67回)において、女子ダブルスで優勝した。
2	個人	田中 大寛	スポーツ科学部	2023年第99回日本学生選手権水泳競技大会において、男子100m自由形優勝、男子4×100mフリーリレーで優勝した。世界水泳日本代表。
3	個人	川村 優佳	スポーツ科学部	2023年天皇賜盃第92回日本学生陸上競技対校選手権大会において、女子400mハードルで優勝した。
4	個人	後藤 若葉	スポーツ科学部	第19回アジア競技大会(2022/杭州)において、女子サッカー日本代表メンバーに選出され、金メダル獲得に貢献した。
5	個人	小林 眞緒	創造理工学部	自動車部所属。2023年全国学生ダートトライアル選手権大会において、女子個人の部で優勝した。
6	個人	菅澤勇太 / 屋敷美玖	創造理工学研究科	子どものための療養施設(ホスピス)を問われた世界の学生と建築家を対象とした国際建設コンペティションBuildner International Architecture Competitionで、日本人で初めて1等とBuildner学生賞をダブル受賞した。
7	個人	井上 菜穂	基幹理工学研究科	2024年1月に近江神宮で行われた女性日本一を決める小倉百人一首第68期クイーン位決定戦において、新クイーンとなった。競技かるた6段保有者。
8	個人	梅木 星輝	教育学部	貧困家庭の子どものために、「学習支援×居場所づくりサークルGrow Seeds Waseda」を立ち上げ、中学生に無料で学習支援を実施し、子どもたちの居場所を作った。
9	団体	ヨット部	—	2023年第88回全日本学生ヨット選手権大会において、総合優勝した。
10	団体	ウエイトリフティング部	—	文部科学省大臣杯令和5年度第69回全日本学生対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)において、団体優勝した。
11	団体	学生環境NPO 環境ロドリゲス	—	環境サークルとして様々な場所で活動を行い、稲門祭においても校友と共に活動し、祭典の成功に多大な貢献をした。
12	団体	早稲田祭運営スタッフ	—	早稲田祭だけでなく、稲門祭においても校友と共に活動し、更なる祭りの進化を目指し尽力した。
13	特別賞 個人	岡田 彰布	教育学部	阪神タイガースの監督として、チームをプロ野球「JERAセントラルリーグ」リーグ戦において、18年ぶりの優勝に加え38年ぶり2回目の日本一に導いた。
14	特別賞 個人	長田 育恵	文学部	第70回文化庁芸術祭賞 演劇部門 新人賞ほか数々の賞を受賞。2023年4月3日から9月29日まで放送されたNHK連続ドラマ「らんまん」を脚本したことで話題となった。